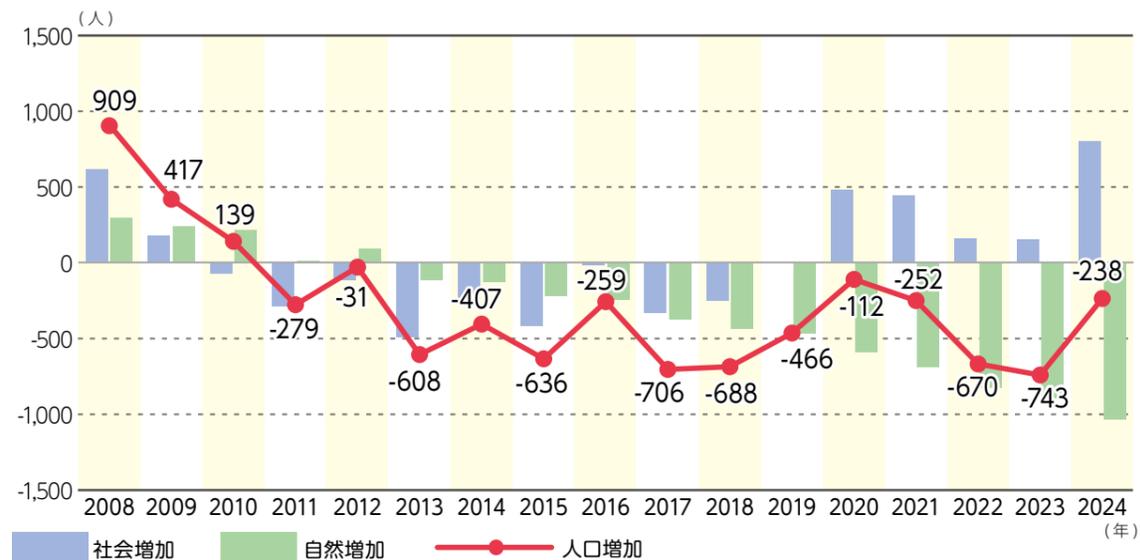


① データでみる泉区の状況

(1) 人口や高齢化率について

● 人口動態

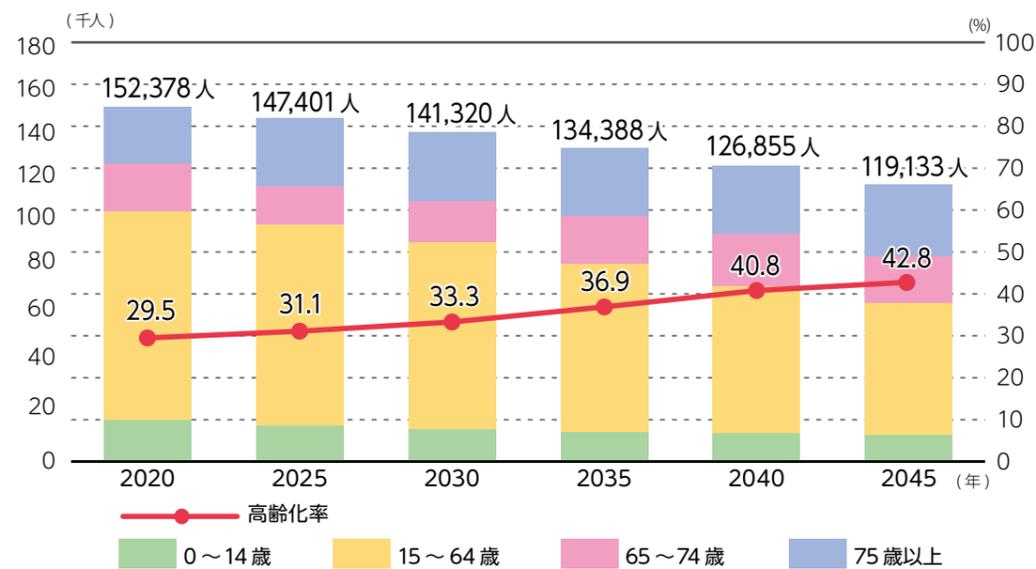


※社会増加数=転入数-転出数+その他増減
自然増加数=出生数-死亡数

(出典：横浜市統計情報ポータルサイト)

泉区では近年人口減少が進んでいます。2008年以降、人口増加が鈍化し、2011年以降人口減少に転じました。2019年以降は、社会増加数は増加に転じていますが、自然減少が社会増加を上回っており人口減少は続いています。

● 泉区の人口推計と高齢化率 (2020年時点を基準・2025年以降は推計)



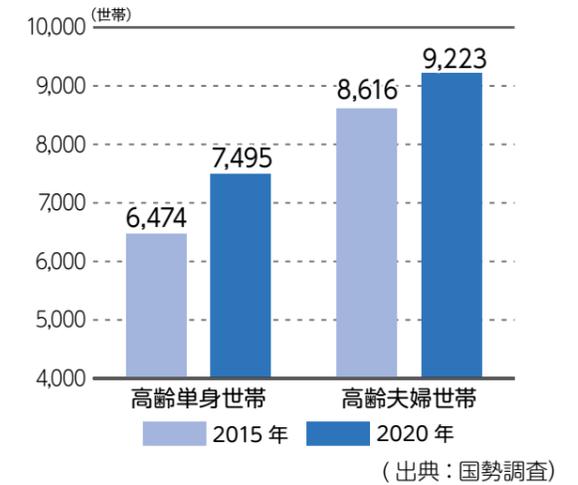
(出典：横浜市将来人口推計)

横浜市将来人口推計によると泉区の人口は緩やかに減少していきます。2025年の20年後の2045年には人口が2025年現在より2割減少すると予測されています。また、高齢化に伴って生産人口(15～64歳)が減少し、高齢化は2030年には33.3%(3人に1人)と推測されています。

(2) 高齢者

● 高齢単身世帯と高齢夫婦世帯の推移

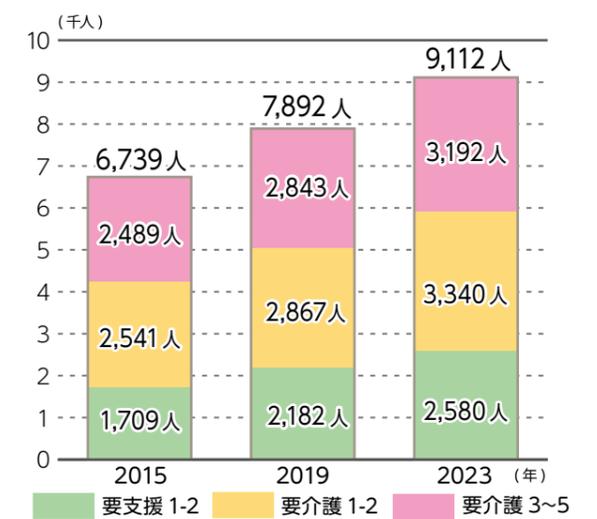
65歳以上の高齢者夫婦のみ世帯及び高齢単身世帯が増加しています。高齢単身世帯は2015年から2020年の5年間で1,000世帯以上増加しており、日頃からの日常的な見守り等地域がつながりあって支えていくことが、いっそう重要です。



(出典：国勢調査)

● 泉区の介護保険認定者数の推移 (各年度末現在)

2023年度末時点で、泉区の介護保険認定者数は9,112人と5年間で1,220人増加しています。高齢者を支える仕組みづくりや、健康づくりや介護予防の取組を進めていくことが必要です。

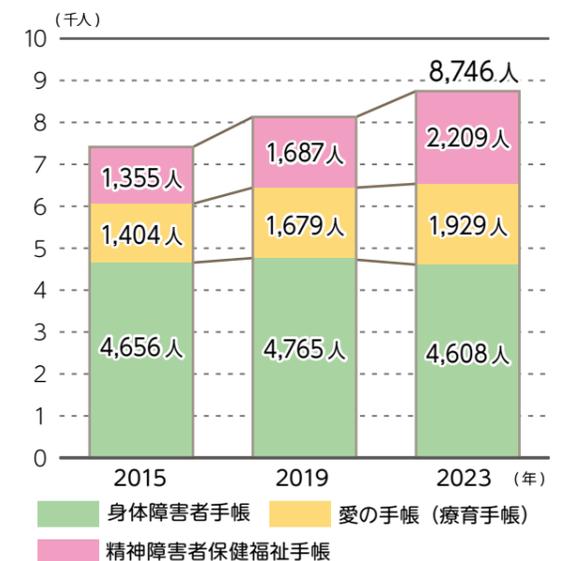


(出典：横浜市統計情報ポータルサイト)

(3) 障害者

● 泉区の障害者手帳所持者の推移 (各年度末現在)

2023年度末時点の泉区の各障害者手帳の所持者は8,746人(総人口の5.8%)です。身体障害者手帳所持者は横ばい、愛の手帳(療育手帳)所持者は微増の傾向、精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向にあります。

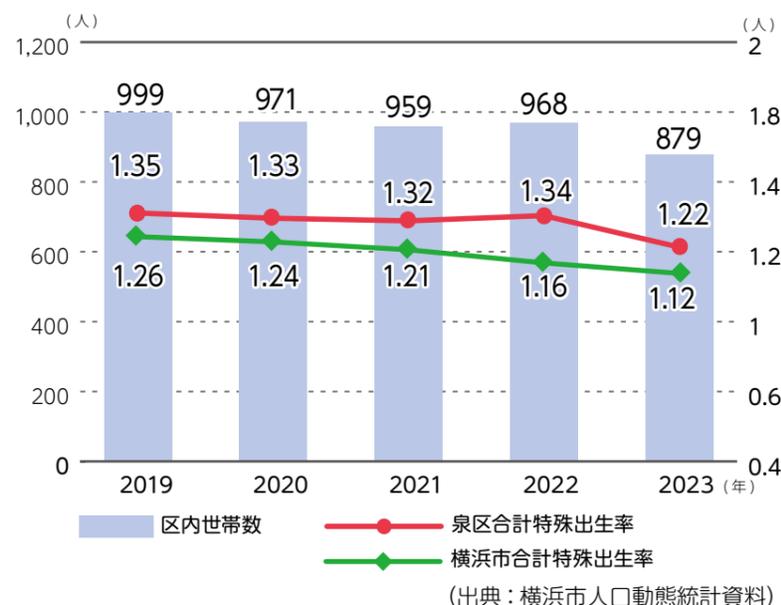


(出典：横浜市統計情報ポータルサイト)

(4) 子ども

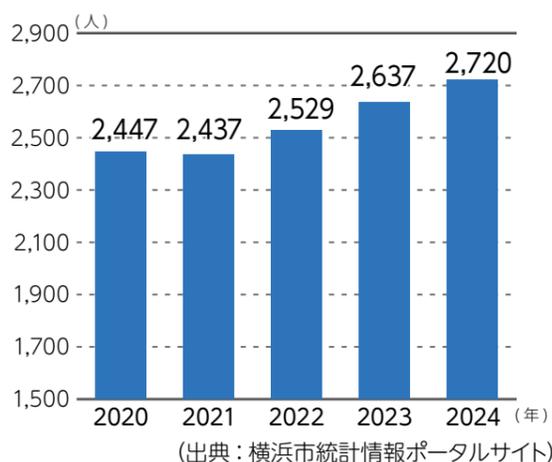
● 泉区出生数と合計特殊出生率の変化

出生数は年間 1,000 人より徐々に減ってきています。合計特殊出生率（15 歳から 49 歳までの女性が一生の間に生む子どもの数を推計した数値）は横浜市より高い数値で経過しています。

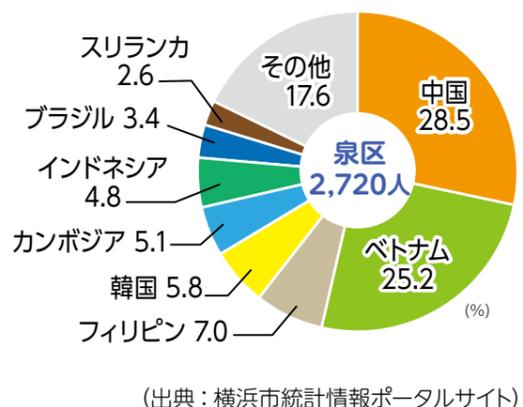


(5) 外国人

● 外国人人口の動向 (各年度末現在)



● 国籍別人口割合 (2025年3月31日現在)

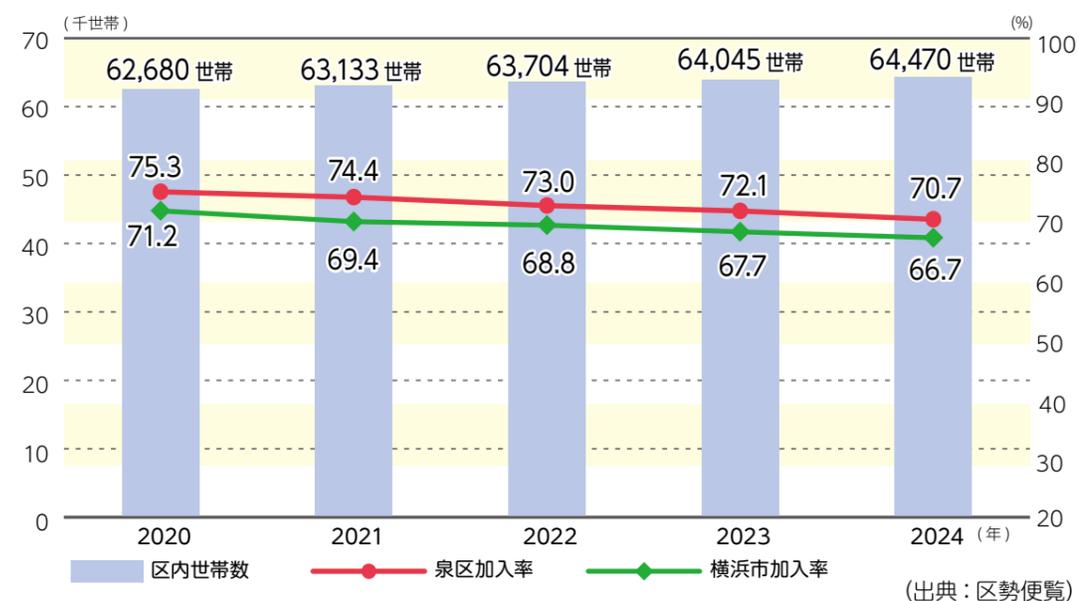


泉区の外国人人口は横浜市全体と同様に増加傾向にあります。

泉区に住む外国人は 2024 年度末現在で中国（775 人）とベトナム（686 人）の 2 国で 53.7% と半分以上を占めています。

(6) 地域

● 泉区の自治会町内会加入世帯数・加入率の推移 (各年 4 月 1 日現在)

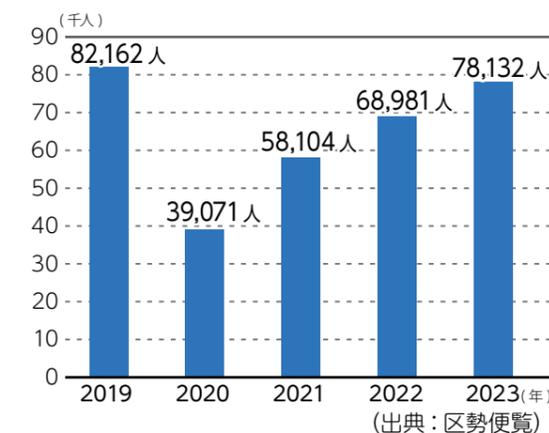


泉区の自治会町内会加入状況は令和 6 年 70.7%と年々減少傾向にありますが、横浜市平均（令和 6 年 66.7%）と比べ 4%高い水準で、泉区は 18 区中 5 番目に高い加入率となっています。

(7) 地域活動・ボランティアの活動状況

● 地域ケアプラザ (区内 7 施設) 利用者数の推移

泉区内の地域ケアプラザ利用者数は、コロナ禍の影響により 2020 年には前年度の利用実績より半減していましたが、徐々に回復しています。



● 泉ふれあい助成金配分団体や担い手・参加者の状況

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
助成団体数 (件)	170	161	137	135	140	141
担い手数 (人)	1,410	1,195	758	709	750	802
参加者数 (人)	67,987	28,263	34,092	52,551	55,000	57,131

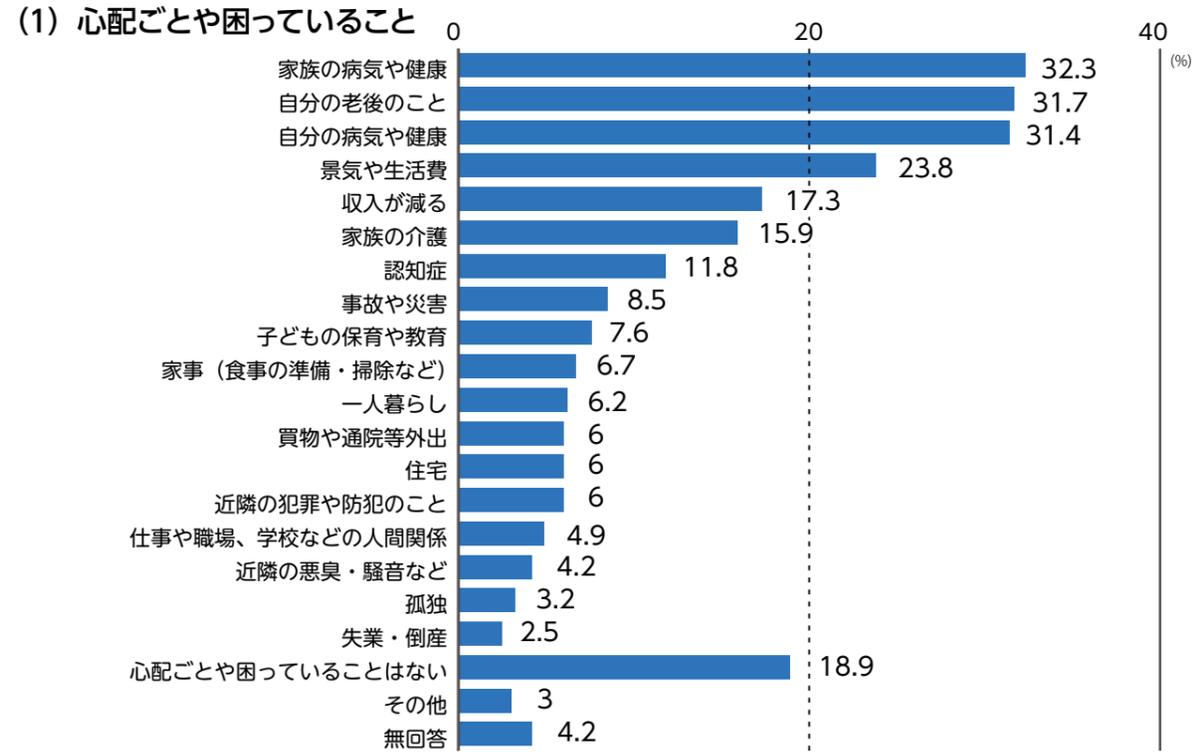
(出典：区社協事業報告)

区内の福祉保健活動団体を支援する泉ふれあい助成金配分団体の担い手数や活動への参加者数はコロナ禍で半減しましたが、徐々に増加してきており、コロナ禍を経て活動ができる体制が整いつつあることが伺えます。

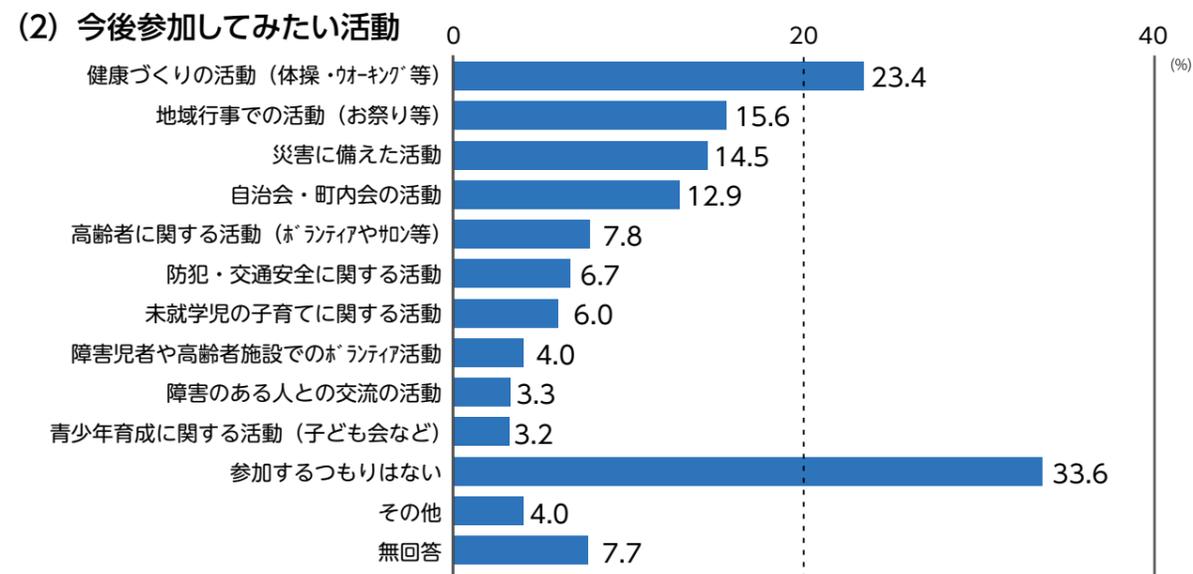
② 泉区のアンケート等より

令和6年度泉区区民意識調査 調査結果報告書より抜粋

令和6年7月に、泉区全域を対象に区政に対する考えや意見（生活意識、買い物行動、地域活動、福祉施策、広報・広聴等）についての区民意識調査を実施しました（対象3,000人、有効回答数1,781件）。地域福祉に関連する内容のうち、主な結果を紹介します。

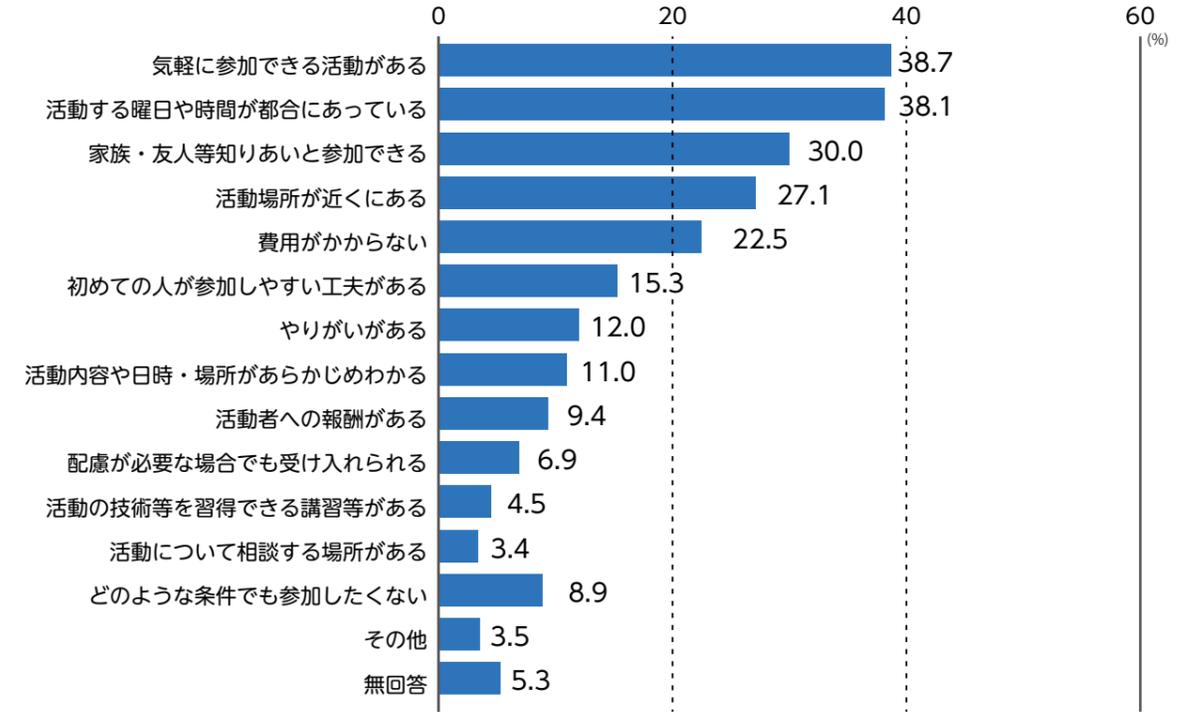


現在の心配ごとや困っていることは「家族の病気や健康」が最も多く、次いで「自分の老後のこと」「自分の病気や健康」が3割以上となっています。



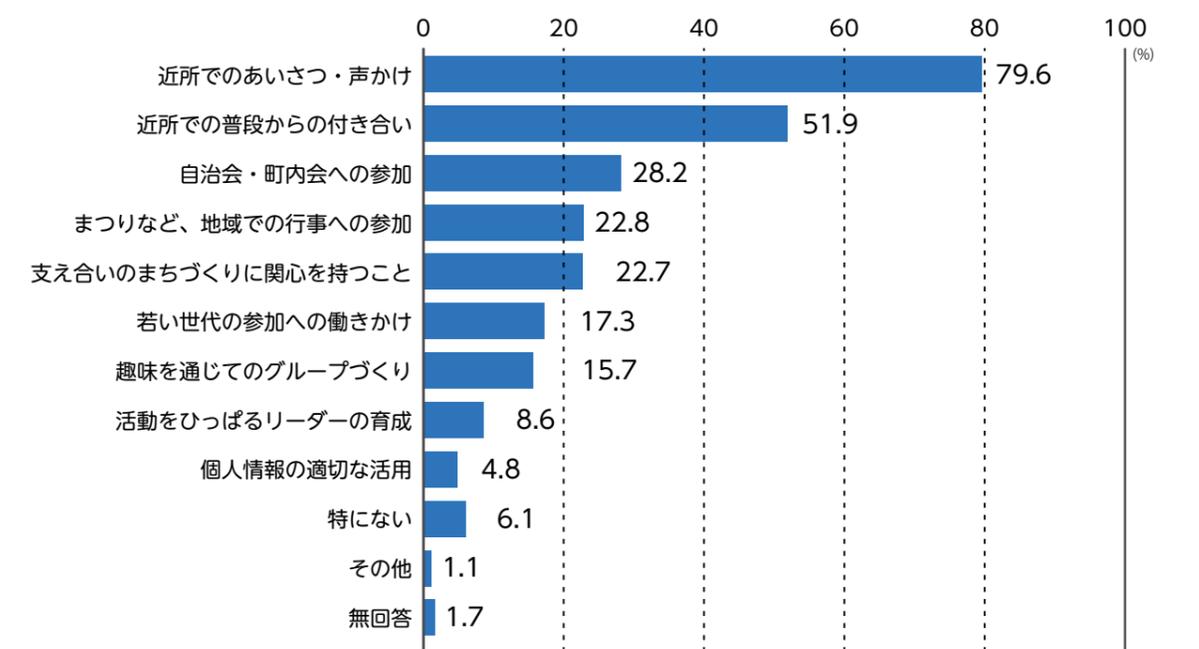
参加するつもりがないと答えた方が33.6%と1番多いものの、次いで「健康づくりの活動」「地域行事での活動」「災害に備えた活動」となり、健康づくりや防災への取組への興味関心が伺えます。

(3) 地域活動に、参加しやすくなる条件



「気軽に参加できる活動がある」「活動する曜日や時間が自分の都合にあっている」を挙げた方が3割を超えており、次いで「家族・知人など知っている人と参加できる」が挙がっています。

(4) 地域で「身近な支え合いの関係」を築いていくために必要なこと



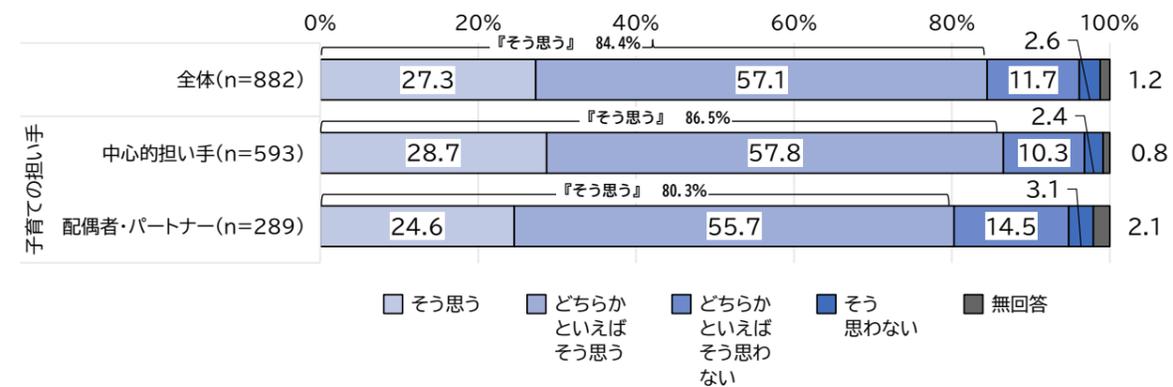
「近所でのあいさつ・声かけ」を約8割の人が挙げています。次いで「近所での普段からの付き合い」が挙がっており、近所での関係づくりに関する項目が上位2項目となっています。

泉区子育てに関するアンケート調査より

令和6年5月1日から9月30日に、泉区で0～3歳を育児している方の育児に関する意識調査を実施しました。有効回答数882件（調査A：子育てを中心に担っている方593人、調査B：子育てをサポートしているパートナーの方289人）。地域福祉に関連する内容の一部を紹介します。

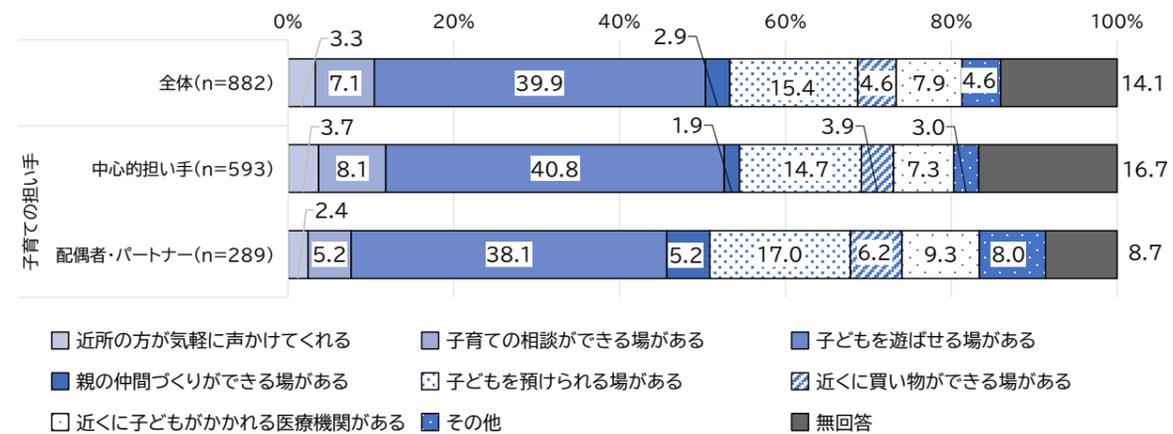
(5) 泉区が子育てしやすいまちだと感じますか？（〇はひとつ）

全体で見ると、「そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）」が84.4%となっています。



(6) 「子育てしやすいまち」になるためには何があるといいですか？

全体で見ると「子供を遊ばせる場がある」が最も多く39.9%、次いで「子供を預けられる場がある」が15.4%となっています。





2026年は泉区制40周年

地域ケアプラザ

福祉・保健の相談、地域活動やボランティアの支援、活動場所の提供や、高齢者の相談・支援など誰もが安心して暮らせる地域を作るための拠点です。

地域ケアプラザの
紹介ページはこちら
泉区ホームページ



連絡先	電話
上飯田地域ケアプラザ	045-802-8200
下和泉地域ケアプラザ	045-802-9920
踊場地域ケアプラザ	045-801-2920
いずみ中央地域ケアプラザ	045-805-1700
新橋地域ケアプラザ	045-813-3877
いずみ野地域ケアプラザ	045-800-0322
岡津地域ケアプラザ	045-812-0685

事務局・問合せ先

泉区役所 福祉保健課

横浜市泉区和泉中央北5-1-1

電話 045-800-2433

FAX 045-800-2516

メール iz-chifuku@city.yokohama.lg.jp

社会福祉法人 横浜市泉区社会福祉協議会

横浜市泉区和泉中央南5-4-13

電話 045-802-2150

FAX 045-804-6042

メール info-izumi@yokohamashakyo.jp

